

平成30年度 地理歴史科

| | | | | | | | |
|-------|---------------|----|-------|-----|-----|----|-----|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 日本史B乙 | 単位数 | 2単位 | 年次 | 3年次 |
| 使用教科書 | 詳説日本史B(山川出版) | | | | | | |
| 副教材等 | 詳説日本史図録(山川出版) | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・歴史という時間軸を感じる。
- ・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
- ・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2 学習の到達目標

- ・我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|--|---|---|---|---|
| 観 点 の 趣 旨 | 近現代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。 | 現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 近現代史を中心とする日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取りたり図表などにまとめたりしている。 | 近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 |
| 評 価 方 法 | ワークシート レポート 〔主題学習〕 振り返りシート | 定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容 | 定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 ポスター | 定期考査 〔主題学習〕 内容のまとめ |
| ※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。 | | | | |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

4 学習の活動

| 学 期 | 名 単 元 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価 方法 |
|-------------|---------------------------------|-------------|---------|---|---|---|--|--|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1 学 期 | 武 家 社 会 の 成 長 | 室町幕府の成立 | | ○ | | ○ | b.d.鎌倉幕府の滅亡、建武政権の成立と崩壊を踏まえて南北朝の動乱を考察し、守護大名に着目して室町幕府の機構の確立について理解できたか。 b.d.日明貿易・日朝貿易の展開、琉球やアイヌの動向に着目できたか。 | ワークシート |
| | | 幕府の衰退と庶民の台頭 | | ○ | | ○ | b.d.惣村の形成や土一揆の発生など庶民による自治的な組織の成立に着目して、応仁の乱に代表される幕府の動揺や衰退を考察できたか。 a.c.d.流通経済の進展による農業・商工業の発達を踏まえて庶民が台頭する姿をとらえられたか。 | 定期考査 ワークシート |
| | | 室町文化 | | ○ | ○ | ○ | b.c.d.南北朝・北山・東山文化を通じて、武家・公家文化の融合、禅文化の果たした役割などを踏まえ、能・狂言・茶の湯・生花などを例にとり理解できたか。 a.b.c.d.今日までつながる庶民文芸の流行、公家の地方下向による中央と地方の文化的交流の活発化を踏まえて、現代につながる地域文化の特色についても考察できたか。 | ワークシート 小テスト |
| | | 戦国大名の登場 | | ○ | | ○ | b.d.富国強兵策を推進して、領国統治を強化した戦国大名、堺や博多など都市の発展を踏まえて、戦国期の日本の多様性を考察できたか。 | 定期考査 ワークシート |
| | | 歴史へのアプローチ | | | ○ | | ○ | c. 資料から必要な情報を適切に読み取れたか。 b. d. 情報や既習知識を組み合わせる因果関係を考察できたか。 a. 歴史の展開における意味や意義を解釈できたか。 |

| | | | | | | | | |
|-------------|-------------|-----------|---|---|---|---|---|---------------------------|
| 2 学 期 | | 織豊政権 | | ○ | ○ | ○ | <p>b.c.d.鉄砲やキリスト教の伝来、南蛮貿易の展開を踏まえてヨーロッパ世界との接触とその影響について考察できたか。</p> <p>a.c.d.幕藩体制とのつながりに着目して、検地や刀狩にみられる兵農分離策を踏まえて、織豊政権の統一過程とその政策を考察できたか。</p> | ワークシート |
| | 幕藩体制の確立 | 桃山文化 | | ○ | ○ | ○ | <p>b.c.d.桃山文化が幅広い国際性を持ちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、秀吉の朝鮮侵略や南蛮文化にも着目して考察できたか。</p> | 定期考査 ワークシート |
| | | 幕藩体制の成立 | | ○ | | ○ | <p>b.d.幕藩体制の特質について、幕府と藩・朝廷・寺社との関係を踏まえて考察できたか。</p> <p>b.c.d.初期外交から鎖国までの過程について、禁教徹底に伴う貿易統制の側面だけでなく、琉球・朝鮮・蝦夷地との交易など東アジアの動向と関連させて考察できたか。</p> | ワークシート |
| | | 幕藩社会の構造 | ○ | ○ | | ○ | <p>a.b.d.幕藩体制下の支配体制、封建的身分秩序の形成、経済的基盤などを踏まえて考察できたか。</p> | ワークシート |
| | | 歴史へのアプローチ | | | | ○ | <p>d. 歴史の解釈の多様性を理解できたか。</p> <p>c. 解釈を成り立たせる根拠・論理を考察できたか</p> <p>a. b. どの解釈や歴史叙述が妥当性を持つのかを判断できたか</p> <p>b 根拠を基に筋道立てて考えを説明できたか。</p> | ワークシート 小テスト 振り返りシート |
| | 制 の 展 | 幕幕政の安定 | | ○ | | ○ | <p>b.d.文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治を取り上げ、幕政の安定過程を考察できたか。</p> | |

| | | | | | | | | | |
|---------|---------|-------------|---|---|---|---|--|---|-----------------|
| | | 経済の発展 | | ○ | ○ | b.d.農業技術の進歩に伴う農業生産の進展、産業の発達と多様化、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都の発達に見える都市の経済的繁栄に着目して、諸産業の展開を考察できたか。 | ワークシート | | |
| | | 元禄文化 | | | ○ | ○ | c.d.元禄文化について、町人の経済的繁栄や商業活動の拡大など経済の発展や、幕府の教学として発展する儒学などに着目して、文学・学問・美術を踏まえて考察できたか。 | ワークシート 定期考査 | |
| 3 学期 | 幕藩体制の動揺 | 幕政の改革 | ○ | ○ | | ○ | a.b.d.幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに着目して、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について考察できたか。 | ワークシート | |
| | | 宝暦・天明期の文化 | | ○ | ○ | ○ | b. c. d. 社会の変容に着目して、この時期の学問の確立、各地に設立された教育機関の展開をとらえられたか。 | ワークシート 小テスト | |
| | | 幕府の衰退と近代への道 | | ○ | | ○ | ○ | b.d.列強の接近に伴う諸事件による鎖国政策への批判や寛政の改革・文化文政時代・天保の改革における失政を踏まえて、幕府の衰退をみることができたか。 a.b.d.マニュファクチュアなど近代の萌芽がみられ、諸藩の財政再建から軍事産業確立に至る雄藩の出現過程を考察できたか。 | 定期考査 ワークシート |
| | | 化成文化 | | ○ | ○ | ○ | | b.c.d.幕藩体制に批判的な学問・思想の起こり、寺子屋など庶民教育機関の普及、浮世絵に象徴される出版文化の発達などに着目して、文化における近代化の芽生えを考察できたか。 | レポート 振り返りシート |

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。